

喫煙と精液所見の関係について

今回は喫煙と精液所見の関係について、当院のデータをご紹介します。

対象・・・当院で2020/1～2020/12に精液検査もしくは妊活健診を行い、かつ喫煙状況が確認できた480症例。

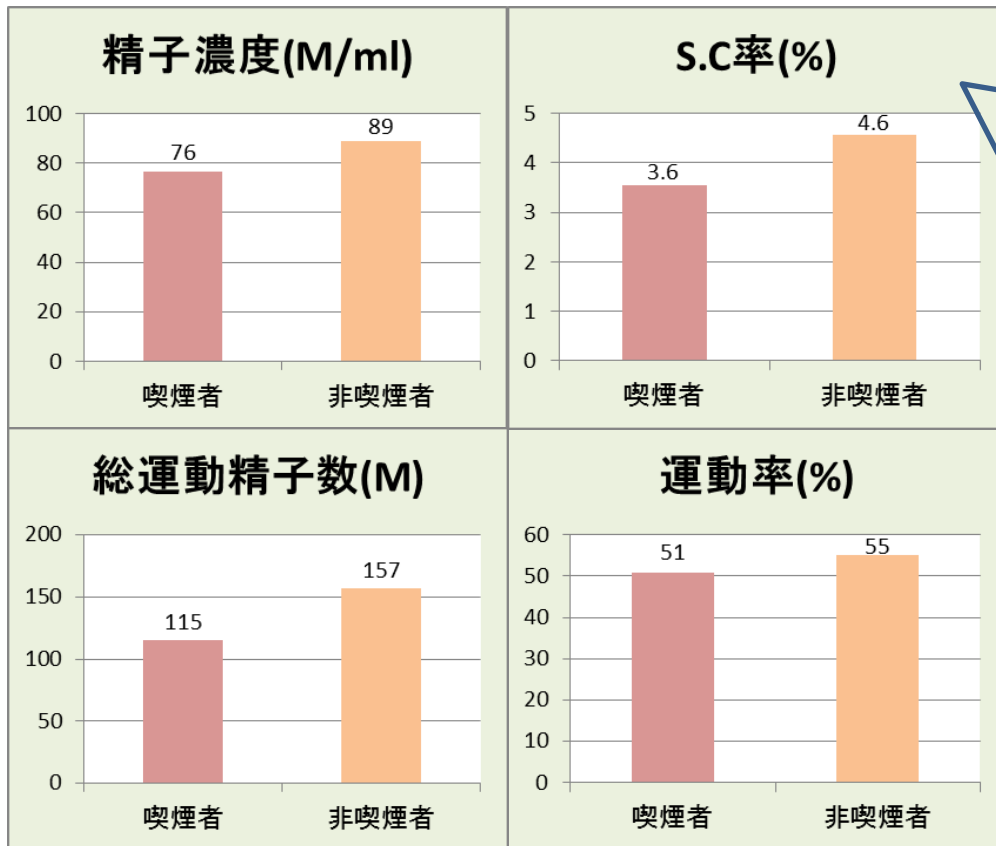
- 喫煙者・・・夫のみ、もしくは夫婦で喫煙している(144件)
- 非喫煙者・・・夫婦ともに喫煙していない(336件)



	夫年齢	精液量
喫煙者	35.8	2.9ml
非喫煙者	34.5	3.0ml

対象者の年齢と精液量の平均に大きな差は見られませんでした。

精液中の精子濃度・運動率・総運動精子数・正常形態率(S.C率)の平均値を比較しています。



WHO基準は4%です。4%に満たない=奇形精子が多いと精子数が十分でも受精できない、受精障害が起こる可能性があります。当院のデータでも4%以上で受精率55.6%、4%未満で33.3%と低下がみられました。

WHO基準(2021.7)

精液量	1.4ml以上
精子濃度	16M/ml以上
運動率	42%以上
S.C率	4%以上

今回、4つの項目全てにおいて喫煙者では有意に低い値となりました。ゆえに喫煙によって精子の濃度や運動性、形態に負の影響があることが分かりました。また、自分が喫煙していなくても受動喫煙によって影響を受けることがあるようです。

みなさんも喫煙状況を見直してみませんか？

